

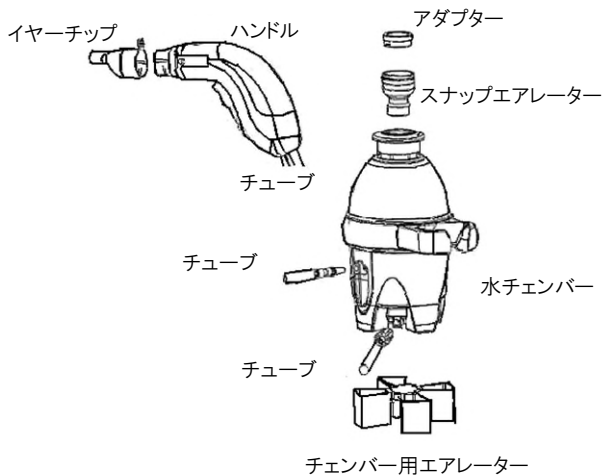
器(55)医療用洗浄器

一般医療機器 手動式生体用洗浄器 JMDN 34630000

ウェルチ・アレン イヤーウォッシュシステム

**【形状・構造及び原理等】

**以下にそれぞれの形状、構造を示します。



品目仕様等

- ・イヤータップからの流量: 100ml/20 秒
- ・イヤータップからの水圧: 10Psi
- ・使用環境: 温度 10℃～40℃

**【使用目的又は効果】

**本品は、患者の外耳道を洗浄するシステムで耳の衛生状態の維持又は治療の一環として用います。

**【使用方法等】

1. 蛇口にスナップエアレーターを取り付けます。径が違うときはアダプターを使用します。
2. 水チェンバーにハンドルからのチューブを取り付けます。イヤータップをハンドルインターフェースに取り付けます。流しの周りでもかなりの量の水が飛び散る場合、チェンバー用エアレーターを取り付けます。
3. 水チェンバーのスナップコネクタにスナップエアレーターを取り付けます。
4. 必要に応じて耳用の洗浄液か耳垢溶薬を使用します。
5. 水を流し、チェンバーの底から出ている水が体温に近くなるまで徐々にお湯を出します。
6. 水流作動装置を押して洗浄水をチェックします。
7. 耳を洗浄するため耳介を摘み、軽く引っぱって、外耳道が真っ直ぐになるようにして、ハンドルの先端を耳に挿入して、密閉します。
8. 作動装置を押して水流を外耳道壁に水流をかけます。作動装置を押す力を調節することによっていくらかの流速のコントロールができます。ハンドルを回転させ外耳道壁全体に水流をかけます。
9. 吸引排水システムにより耳に入った水及び排出物は耳から取り除かれます。
10. 洗浄水の温度が高くなり過ぎる場合、ハンドルへの水流を制限します。水温が十分下がるまで蛇口のノブを調整すれば制限はリセットされます。
11. 洗浄が完了したら、ハンドルを下向きにしてイヤータップを取り外します。イヤータップは使い捨てです。
12. 使用後は蛇口を閉め、チェンバーからチューブを外し、スナップエアレーターからチェンバーを取り外しチェンバー内の水を排水します。
13. チューブの開放端をしながらチューブより高めにハンドルを保持してチューブ内の水を排水します。

**【使用上の注意】

1. 水が冷たすぎると、めまいを感じたり、眩暈症を経験したりすることがあります。洗浄を行う前に水温を確認してください。
2. 作動装置が押されているのにイヤータップから水流が無い場合は、ユニットに冷水を流し熱湯遮断装置が始動していないかチェックしてください。
3. 使用後はハンドル、チューブ、チェンバーから残った水を取り除いてください。

- い。
4. 本品に使用するアクセサリは弊社指定のもの以外は使用しないでください。
5. 使用中に何らかの異常を感知した場合は、直ちに使用を中止して点検を行うかあるいはお取引のディーラー担当様または製造販売業者へ連絡してください。
6. イヤータップは再使用禁止。一回限りの使用になります。
7. 本品は滅菌などの措置はできません。故障の原因となります。
8. 耳の洗浄を始める前に耳の状態を確認し、鼓膜に穿孔又は傷がある場合使用は避けてください。化膿させる可能性があります。
9. 現在又は既往症として下記の患者には使用できません。
 - a) 慢性中耳炎の患者
 - b) 経鼻胃チューブを挿入している患者
 - c) 免疫力低下患者
 - d) 糖尿病患者

**【保管方法及び有効期間等】

以下の条件で清潔な場所に保管してください。
温度 -40℃～49℃、相対湿度 95%以下

**【保守・点検に係る事項】

- ・ 毎回使用後に洗浄し消毒します。
- ・ 石鹼水でユニットを洗浄するとチューブのゴミが取り除かれ、微生物の数が減少します。ほとんどの細菌と親菌類の増殖を排除するために、70%のイソプロピルアルコール、または漂白剤 10%に対して 90%の水溶液でユニットを消毒します。チューブ内の残留水の蒸発を助けるのでアルコールの使用をお勧めします。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

**製造販売業者

ウェルチ・アレン・ジャパン株式会社

**外国製造所(国名)

Welch Allyn Inc.(米国)

ウェルチ アレン、インク